

# サンプル問題を活用した学習指導の改善に向けて(国語)

本号ではサンプル問題を取り上げ、指導する際のポイントを紹介します。特に、複数ページに渡って問題があるので、「どこを読んで」「どう答えれば」よいか分からなくて困っている児童や、たくさんの選択肢の中から1つを選ぶことが苦手な児童への支援として、本通信を活用ください。


## 選択式の問題における指導

## サンプル問題 小国語 二

【資料1】職業について書かれた本の「パン職人」のページ

焼き立てのかおりに包まれて

### パン職人の仕事



(4) スナリオワカ

朝5時からパン作り開始


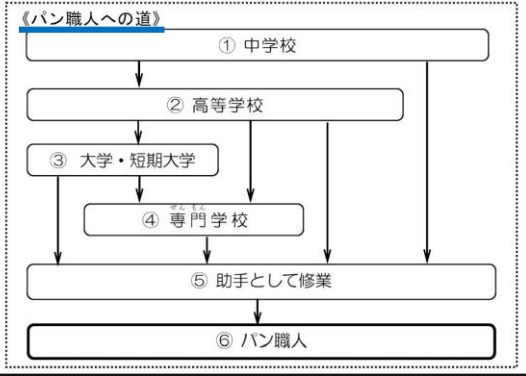
7時の開店に焼き立てのパンを並べるために、朝5時からパン作りが始まります。前日に準備した生地をパンの形にし、発酵させ、焼き上げます。何種類ものパンを作るため、朝から大忙しです。パン職人は、これを毎日行います。

気になる天気

パンの仕上がりは天気や気温、湿度によって大きく左右されます。翌日の天気予報を確認し、生地の配合などを調節します。

【パン屋さんの一日】

5:00	パンの生地の確認
	パンの形作り、焼き
7:00	開店
11:30	パンの形作り、焼き
14:00	翌日の天気の確認
	翌日の生地作り
17:00	片付け
	翌日の準備
19:00	閉店

【出題の趣旨】  
目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むことができるかどうかをみる。

二 谷口さんは、資料1 を読んだあと、もっとくわしく知りたいことがあったので別の本を探し、資料2 を選びました。谷口さんは、どのようなことを知りたいと考えて【資料2】を選びましたか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 パンがどのようにでき上がっていくのかを知りたい。
- 2 パン職人の仕事に対する考え方を知りたい。
- 3 パン職人の生活は日によって変わるのかを知りたい。
- 4 パンには、どのような種類があるのかを知りたい。

### パン職人の声



資料1 パン職人の坂下さんに聞いてみました。

資料2 パン職人について書かれた本のインタビューのページ

1 子供のころから、ふわふわ、もちもちのパンの食感が大好きで、たくさんパンを食べていました。そして、小学校高学年のころから、そんな大好きなパンを、自分で作りたいと考えようになりました。

2 中学校、高等学校を卒業した後、専門学校に入学している料理の基本を学びました。専門学校を卒業後、地元のパン屋に就職して、パン作りの助手として修業をしました。修業中は、夢中でパン作り方を学びました。四年生はパン作りの全てを任せられ、職人として一人前と認められるようになったときは、本当にうれしかったです。

3 この仕事の大変なところ、苦労は何ですか。

4 同じ種類のパンでも、材料の分量や、焼く温度などをその日の天気や気温、湿度などに合わせて変える必要があるため、毎日同じ味になるように作り方を考えることが難しいです。また、お客様がどんなパンを食べたいのかを想像し、自分が新しく考えたパンを思いどおりに作ることは、さらに難しいです。



5 わたしはパンが大好きなので、パンのにおりに思まれているだけで幸せな気持ちになります。

6 自分の思いどおりのパンが焼き上がった時は、とてもうれいです。いいにおいにお包まれて、ふっくらと焼き上がったパンがまから出てくると、パン作りの苦労がふき飛ぶ感じがします。

7 焼き立てのパンがお店に並ぶと、お客様から「ああ、「おいしそう」とか声が上がることがありますが、そんなふうにお客様のうれしそうなお声聞こえた時は、パン職人をやっていることがとても実感します。

【解説の手順】

- 1 重要語句は「シック体」になっていることを確認する。重要語句と実際の資料を線で結びつけるなどして確認させる。
- 2 問われていることを確認する。問われていることに線を引く。
- 3 誤っていると思う選択肢を理由をつけて選ばせる。1と4は違うと思います。理由は、谷口さんはパン職人のことを知りたいのに、1と4はパンについて書いてあるからです。
- 3は違うと思います。理由は、「資料2」を読んでも、パン職人の生活は日によって変わるのかということでは分からないからです。

【出題の趣旨】

目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫する

【解説の手順】

① 重要語句はゴシック体になっていることを確認する。

重要語句と実際の資料を線で結びつけるなどして確認させる。

② リード文を読み、状況や問われていることを確認する。

リード文は三文で構成されています。それらに線を引かせ、その内容を捉えさせます

- ① 全体の内容
- ② 内容の中心
- ③ 問いかけ



谷口さん

① 谷口さんは、「スピーチメモ」をもとに、友達とスピーチの練習をしています。次は谷口さんのスピーチの練習の様子です。② ③ に当てはまる内容を、あどの条件に合わせて書きましょう。

スピーチの練習の様子

これから、私が将来なりたいと思っているパン職人の仕事について紹介します。私がパン職人を選んだ理由は、パンが好きで、将来は自分のお店を持ちたいからです。パン職人になるためには、いくつかの方法があることが分かりました。例えば、高等学校卒業後に(中略)次に、パン職人の仕事についてです。パン職人の一日は、朝五時にパンの生地の確認をすることから始まります。(中略)このように、おいしいパンを作るために、パン職人は天気など、さまざまなことに気を配っていることが分かりました。パン職人の仕事について調べてみて、私が特に心に残ったことは「パン職人の仕事の苦労」と「パン職人の仕事の喜び」です。

私は将来パン職人になるために、パン作りの工程や、おいしいパン作りのコツなどを学んでいきたいです。そのために、今からできることがないか、探してみたいと思います。これで、パン職人の仕事についての紹介を終わります。

③ 条件」を読み、条件の数を確認する。

条件① 「パン職人の仕事の苦労」が伝わるように書くこと

条件② 「パン職人の仕事の喜び」が伝わるように書くこと

条件③ 「資料2」の言葉や文を取り上げて書くこと

条件④ スピーチにふさわしい表現で書くこと

条件⑤ 字数制限

条件⑥ から書くこと・行を変えない

※⑥は問題用紙にある下書き用原稿用紙の右側にあります。

条件付きの記述式問題の場合、字数制限を意識してしまい、書くことができなくなる児童がいます。そのような児童には、字数は気にせず、内容に係る条件(例えば①③④)だけを意識して書くように指導しましょう。その後、字数の調整が必要であれば、不要な内容や重複する内容を削除したり、具体的なエピソードを盛り込んで字数を増やしたりして調整する方法を丁寧に指導することも大切です。

(条件)

① スピーチメモの中の「パン職人の仕事の苦労」と「パン職人の仕事の喜び」が伝わるように書くこと。

② スピーチにふさわしい表現で80文字以上、100文字以内にとめて書くこと。

③ 資料2 パン職人について書かれた本のインターネットのページ

パン職人の声



◆ パン職人になったきっかけを教えてください。

1 子供のころから、ふわふわ、もちもちのパンの食感が大好きで、たくさんのパンを食べていました。そして、小学校高学年のころから、そんな大好きなパンを、自分で作りたいと考えようになりました。

◆ どのようにして、パン職人になったのですか。

2 中学校、高等学校を卒業した後、専門学校に入學していろいろな料理の基本を学びました。専門学校を卒業後、地元のパン屋に就職して、パン作りの助手として修業をしました。修業中は、夢中でパンの作り方を学びました。四年たったパン作りの全てを任せられ、職人として一人前と認められるようになったときは、本当にうれしかったです。

◆ この仕事の大変なところは、苦労は何ですか。

3 同じ種類のパンでも、材料の分量や、焼く温度などをその日の天気や気温、湿度などに合わせて変える必要があるため、毎日同じ味になるように作り方を考えるのが難しいです。また、お客様がどんなパンを食べたいのかを想像し、自分が新しく考えたパンを思いどおりに作ることは、さらに難しいです。

◆ どのような時に仕事の喜びを感じますか。

5 わたしはパンが大好きなので、パンのかおりに包まれているだけで幸せな気持ちになります。

6 自分の思いどおりのパンが焼き上がった時は、とてもうれしいです。いいにおいにお包まれないが、ふっくらと焼き上がったパンがまから出てくると、パン作りの苦労がふき飛びます。

7 焼き立てのパンがお客様に並ぶと、お客様から「わあ」「おいしそう」「とかん声が上がることがあってパン作りの全てを任せられ、職人として一人前と認められるようになったときは、本当にうれしかったです。

② 喜び

① 苦労

スピーチメモ

1 将来なりたい職業(パン職人)